

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

1 開 会 令和4年6月23日 午後 2時00分

2 閉 会 令和4年6月23日 午後 3時05分

3 場 所 総社市役所西庁舎3階 301西会議室

4 出席又は欠席した委員

出席委員

教育長 久 山 延 司

教育長職務代理者 三 宅 眞砂子

委 員 大 山 敬 子

委 員 剣 持 江利奈

欠席委員

委 員 児 島 塊太郎

5 会議に出席した者

教育部長 加治佐 一 晃

教育部参事兼こども夢づくり課長

林 直 方

教育総務課長 浅 野 竜 治

教育総務課長補佐 高 谷 直 樹

学校教育課指導主幹 西 浪 聰 郎

6 会議録署名委員

久 山 延 司 三 宅 眞砂子

7 議事の概要 別紙のとおり

【開会 午後2時00分】

久山教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

会議録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私のほか、出席委員中、三宅委員にお願いします。

今日の議題は6月議会の一般質問で出された質問に対する教育委員会としての考え方についてお話させていただき、そのあと私の方から教育長報告で議会と重なるところがあるのですが、義務教育学校の設置について具体をお話ししたいと思っています。それから三宅委員さんからただ今貴重な資料をいただきましたのでこの資料を基にご説明いただけたらと思います。

では、6月定例市議会の中間報告の説明をお願いします。

加治佐教育部長 6月定例市議会につきまして、一般質問が終了しましたので内容についてご説明させていただきます。まず、山名正晃議員からのご質問です。ユニバーサルデザインフォントというものに関する質問でございます。今、我々がよくゴシック体、明朝体などの文字を使って文書を書いていると思いますが、ユニバーサルデザインフォントという、文字を見やすくし、誤読しにくくしたような文字がございます。例えば、数字で言うと6とか3が8に見えやすいという特徴がありますが、それが分かり易くはっきりしたものでございます。それにつきまして学校・園でも積極的に取り入れていくべきではないかという観点からの質問でございました。まず、最初にプリントがどのように学校、園で作成されているのかという観点からの質問でございまして、これについて事実関係として回答させていただいております。次に、ユニバーサルデザインフォントをもっと積極的に使用してはどうかということについてご質問がございました。それについては教育委員会で学校に聞き取りを行いましたところ、既に約半数の学校で使用されており、これまで使用されていない学校についても徐々に活用を広げていきたいと考えております。まずは教育委員会でユニバーサルデザインフォントを作ってみようと考えておりまして、今資料をお配りさせていただいているものは、ユニバーサルデザインフォントを使ってみたものでございます。さらに学校、園でのプリントの作成の仕方ですかデザインがバラバラになっていないかということで、事例を、教育委員会が学校、園へ紹介することによって共有を進めて参りたいと考えております。

次に、高谷幸男議員からご質問がございました。こちらは教育に関して、主に学校の配置についての質問でございます。まず、義務教育施設について将来的にどのように考えているのかということございまして、これまで「1人になっても学校、園は残す」という答弁をしてきたところですが、統廃合を視野に入れて考えなければならない時期にきているという答弁をさせていただいております。こちらは市長からの回答になっております。昭和地区5校園につきましては、幼稚園を含めて義務教育学校にするという意見書が今年2月に提出されておりますので、それを踏まえて検討するという回答をさせていただいております。

次に適正規模、適正配置の取り組みに関してご質問がありました。国の考えの適正規模、適正配置は一つの学校につき12クラス～18クラスとなっはいるのですが、それを下回るような学校・園、または上回るような学校・園が市内に多く存在するという観点からのご質問です。国の考えも強制力のあるものではなく、あくまでも地域の実情に応じてやってくださいということですので、学区の弾力化ですとか特区の拡大によりまして地域の児童生徒数に応じた教育を実施していくと回答させていただいております。また、検討委員会の設置ですとか廃校をした場合に廃校施設の活用をどうするかという観点のご質問もございました。

次に、小川進一議員から人口増加政策についてのご質問がございました。まず、人口増加について本市の施策は何かということで、教育に限らず全般的な市の施策として何かということでご質問があったのですが、こちらは市長からの答弁ですが、幼稚園給食のスタートということと保育料無償化をすべきではなかろうかと考えているという形の答弁をさせていただいております。次に待機児童の関係のご質問がございまして、希望する保育所に入所できていない子どもに対してどのようにしているのかという観点からでございました。私立保育所を一つ造る、あるいは預かり保育を充実させていく、認定こども園での受け入れ可能園児の増加を進めるということが考えられると答弁させていただきました。千葉県流山市の施策を参考にしてというところで委員の方からご指摘がありましたが、保育士支援金というものを本市の方でも支給しているところですので、民間保育園の賃金を上げていただきたいということは市長から答弁していただいたところです。

次に、萱野哲也議員から給食に関してのご質問がございました。学校給食及び農業施策でオーガニック、有機栽培を進めていくということですが、農業政策、過去に有機米が給食で提供されていたがどうかというところで事実関係のご質問。オーガニック給食を進めていくべきではないかということに対して、学校給食でも栽培量が増えて価格も高くなければ取り入れていきたいということで回答させていただいております。

次に岡崎亨一議員からのご質問でございます。学校給食について、最近の物価上昇を踏まえて対応を考えていくべきではないかという観点からご質問がございました。なんらかの方法で給食費高騰に対する助成を行うということで回答をさせていただいております。

次に、小西利一議員からのご質問がございました。こちらも人口減少対策についてのご質問でございます。特に昭和地区、池田地区、川西地区からの人口減少が続いているところで、何の対策を進めていくのかということで、一つ学校園というものを売り物とさせていただいて特区ですとか、あるいは地域の特性を出していきたいということをお返答させていただきます。幼稚園給食も開始させていきたいということで合わせて答弁しております。神在地区を念頭に置きまして幼稚園児や小学校児童の確保をどのように進めていくのかというご質問がございました。市の中心部から遠い距離ではない距離ですので、市中心部から通学してほしいということを教育委員会でも常日頃から取り組んでいるところですが、すけれども、「いざ」というときはご相談しますということで統廃合もあるということをお返

めかした回答をさせていただいております。

このほかにも、旧清音公民館の跡地を利用して生涯学習センターを設置する計画があったのですが、進捗状況に関する質問がございまして、引き続き検討していきたいという回答をさせていただいております。以上です。

久山教育長 議会一般質問について説明がありましたが、何かご質問等がありましたらお願いします。

三宅委員 最初のユニバーサルデザインフォント、これは非常に読みやすいので私も途中から感染症情報をこの書体に変えています。だから、全体として取り組んでいくのが良いかと思えます。以上です。

久山教育長 ありがとうございます。教育委員会からも発出文書はこのユニバーサルデザインフォントを使うことにしています。それから学校についても校長会・園長会で紹介しておりますので徐々に増えてくると思えます。学校の文書というのは色々な種類があります。通知文だけではなくて学級通信や子ども宛ての文書など色々なものがあるからそれに合ったフォントを使うということで良いと思っています。また、学級通信を手書きで書いている教員もおり、非常に味がある通信で本当に良いです。強制ではなくお願いしたいと思えます。この書体は太さが殆ど同じですから読みやすいです。明朝体だったら横棒が細いですよね。だから印刷とかがしたら擦れたりしますがこの書体は無いです。そういう意味でできるだけ使っていくよう学校現場の方にもこれからも言っていきたいと思えます。

他にはございませんか。

三宅委員 もう少ししたら総社市も人口減少になっていくという話を聞いたのですが。

久山教育長 もう少ししたらというか、今まさに減少しています。去年の11月をピークに徐々に徐々に減少している状況です。出生に対して死亡が多かったところと外国人の減少が数字の減少に繋がっている状況ですが、市として、教育はもちろんですが教育以外でもこれから人口を増やしていく方法を色々考えないといけないという状況であります。義務教育学校にしてもそうですし、特区の拡大や学区の弾力化でも、市内の子だけでなく特区については市外からも入ってきます。それから教育費の無償化、すべてを無償化にするのか、2歳だけにするか。今、3歳以上が無償ですので2歳も無償にするのか、それから二人目、今は半額ですが、それを無償にすると色々な方法があり、その無償化の方法を考えている状況です。それから幼稚園の給食です。これが人口減少対策にどう繋がっていくのかということですが、今、保育園の待機児童というのが実質は150人くらいです。保育所限定ということではあります。実際待っているという状態の方は150人くらいいます。その人たちはご家族でおじいさん方がみられたり、認可外の保育園に行かせたり色々なことをしながら待っています。それを解消していくために、今、幼稚園が定員に対して40%行かないくらいです。中心部の大きな幼稚園はかなりの人数ですが、それ以外のところは相当人数が減ってきています。そこで受け入れることによって保育所の空きができる。そうすると待機児童が減っていく。そうすると子育てがしやすいということで他市町村からも転入し

てこられる方もおられるのではないかとということで幼稚園での給食，預かり保育の実施を考えています。幼稚園の保育所化のような状況を作ることによって流れを変えるなど色々な方策を考えている状況です。

三宅委員 総社幼稚園の園医をしているので、昨日行ってきました。

総社市内で生まれて段々大きくなったお子さんは割と健診の体制がしっかりしていてフォローができていう話でした。最近では1歳半の健診で、ちょっと気になる子たちは相談に乗って療育の方へお願いしたりしています。総社幼稚園の園長先生がおっしゃるには4歳くらいで途中から他市町村から来られる方はやはりちょっとフォローができていない。結構、4歳くらいで総社市の中心部の方は転入されて来る方がいらっしやって、それも親が他県におられる方で、子どもが生まれてもフォローがなかなかできない方たちが多い。そうしたらまた他所へ行かれるのですかね、と話をしたら家を建ててここへ住むという話を聞きまして、その辺りの健診などのフォローをしていけば良いのかなという気はしますが、総社市としてはかなり負担がかかりますよね。

久山教育長 医療費の無償化が話題になっています。やはり、転入者を増やすということで人口増加を図るとしたら子育てと医療が大きいですね。そこで、やはりお金の問題も当然上がってきますが、今、人口減少対策の中心的なものとして市全体で考えていくところです。健診は確かに大きいですね。

三宅委員 特に大きな市町村は「何ですか？それ」って言われるのですけれど、総社市はこども課との連携が取れていて、大体頭に浮かんで支援が必要かなという感じで今は割とスムーズにできています。ただ、学校までと言ったらなかなか難しいみたいですね。以上です。

久山教育長 他にございませんか。

(質疑なし)

久山教育長 それでは私からの報告ということで、「保護者説明会 質問事項への回答」というプリントがあると思います。これは6月27日に昭和地区の昭和中・昭和小・維新小・昭和幼・維新幼の五つ星学園と呼ばれている5校園の保護者対象の会を開きます。事前に保護者から提出された質問事項，義務教育学校に移行するにあたって分からないことなどがあったら教えてくださいということで質問を集めました。相当数の質問が出たのですが、それを集約したものです。似たような質問は一つにまとめて、これを配って説明をしようと思っておりますので事前に見ていただきたいと思います。また、ご意見があつたら言っていて修正はできますのでよろしくお願いします。

まず、開校時期です。決定ではありませんが、R6年4月1日を考えているところであります。当初は3月に提言書を出されましたので、できるだけ早くということでR5年度も考え、力一杯急いだからできるのではないかと思いましたが、施設一体型にすると校舎建築とか増築とか必要になってきます。それでは1年で絶対にできないですけど施設分離型は要するに中学校はそのまま残す、小学校は維新小学校の児童が昭和小学校の校舎へ行く、維新幼稚園の園児は昭和幼稚園に行くということで幼稚園併設型の施設分離型義務教育学校。

ということは、多少の修繕とかは必要だと思いますが、基本的には校舎・園舎はそのまま使えるということになりますから物的なものに特に変化はありませんので時間をあまり掛ける必要がない、中身だけということになりますから、無理をすれば4月からいけるかと思ったのですが、やはり色々考えてみるとしなければならぬこと、決めなければならぬことがたくさんあります。そういうこともあり、ちょっと余裕を持たないといけないということ、また、他市町村で義務教育学校を考えているところがあるのですが3年前くらいに計画しています。岡山市立山南学園がこの4月からスタートしました。次は美咲町が令和7年から発表されていますが、これも大分前から決めてやっています。しかしながら我々としては、実は今朝、維新小学校へ学校訪問してきたのですが維新小学校の5・6年生は複式で7～8人ずついます。ところが4年生は1人、3年生は2人です。令和6年度は4年生が6年生になる年です。そういうことでぐっと減ります。そうなる前に一緒になった方が子どもにとって良いのではという思いもあります。また、気運が高まってあまり年数が経つとそれも良くないと思いR6年度が適切だということで進めようとしております。それから校舎は先ほど申し上げたとおりで、これは1年生～9年生までということになります。それから跡地利用は地域の方も我々も心配するところですが、これは地域の方と相談しながら進めていきたいと思っております。次に、制度というのは一般的には6・3制の小学校6年・中学校3年です。6・3制を維持して分離型にするのか5・4制とか4・3・2制や4・2・3制など自由にできます。分離型の場合は物理的なことがあるから自由と言っても限られてくると思いますが、どれが良いかということこれから考えていきます。1校園になっても施設分離型にしますので前期課程の修了式とかそういう形で区切りをつけるということをしていきたいと思っております。それから目標・カリキュラムです。これは取組み内容で最も重要なことで、教育目標の作成については、まずは準備委員会を作ろうと思っております。準備委員会を小部会に分けて、教員、保護者、地域でそれぞれ構成して、その小部会で検討して案を作成し、準備委員会で協議をする。それから教育委員会と校園長会で決定という形でしたいと思っております。幅広く意見を聞いてどういうものにするかということを検討していきたいと思っております。

英語特区については継続することを考えております。他校、学区外、市外からの受け入れも継続していきたいと思っております。昭和幼稚園は特区ではなかったのですが、これを機に幼稚園、義務教育学校をすべて特区に指定して学校も市外から受け入れを行い組織としては、開設準備委員会を設立します。その後、小部会を立ち上げ、そこで一つずつ決定しホームページで公開していくという形にしたいと思っております。それからスクールバスについては維新から学校までの間を走らせることを考えていますが、お金がかかることなので議会で決定したらということになります。運行しようと思っております。

環境整備もこれを機に汚いところを直して欲しいというご要望もあるようです。それから制服の問題があります。中学校は4校ともR5年度から制服を変えていきます。小学校は当面、現在の制服でも新しい制服でも良いとし混在する状況になりますが、制服についても

小部会で検討していきたいと思っております。行事や活動についても保護者のご意見を聞きながら、維新小の地域と連携した行事もかなりあるので、そこも大切にしながら決めていきたいと思っております。幼稚園も幼稚園併設型の義務教育学校ということですから同様に考えていきたいと思っております。心配することとして教員、特に維新小の先生がどこかへ行ってしまい昭和の先生ばかりになって知った先生がいない状態になってしまうのではないかとこのことを心配されています。そういうことにも配慮しながら県教委と相談していきたいと思っております。その他は少人数から大人数と言っても大規模校のようにはならないですが、それでも3～4人の集団から何十人かの集団になりますのでそういうところは心のケアをしていきたいと思っております。保護者のご質問に答えながら、また、ご意見をお聞きしながら進めていきたいということでもあります。

それからもう一つご報告ですが、学び直しということで『そうじゃ夜間中「学びの教室」』を開校します。27日が開校式です。去年の12月から今年の1月に掛けて広報誌に挟んで全戸にアンケートをしました。夜間中学と学び直しで希望をとりましたら、夜間中学は2名、学び直しが22名という結果でありました。そんな中で、確認の電話は1～2月にもさせていただいているのですが今年度4月に入ってから希望者一人一人に再度希望されますか、参加されますかと確認の電話をして希望されるという方が14人おられました。その14人の方には個人面談をしております。そして、ご希望等をお聞きして、それを見て指導者の方を募っています。指導者・支援者が合わせて25名で週に1回しますから、この25名の内、指導者はそこに参加できて指導して下さる、支援者は随時手が足りないときに助けて下さる。支援者は公民館とか市の施設で仕事をしてくださっている方が大半であります。その中で主任指導員ということで元東中の養護教諭の先生、元東中の副校長の先生、小学校の先生の3名が中心でリードして下さるということです。事務局は生涯学習課と教育委員会に仕事をさせていただくこととしています。受講者が先ほど14人と言いましたが一人減って13人です。13人も小学校3年生くらいから学び直したいと言う人や中学の学習の勉強がしたいと言う人がいてまちまちです。今晚、顔合わせの会がありまして、そこで大体のルールを決めていく、教材を実際見ていただいたりしながらもっと本格的に学習したい、中学のカリキュラムを学習したいという方が何人も出てくる状況になれば本格的に公立の夜間中学の設置も考えていきたいという状況です。まずは、学び直しでスタートするということでもあります。以上です。何か義務教育学校と学びの教室についてご質問ご意見がありましたらお願いします。

剣持委員 義務教育学校なのですが、昭和地区とか人口が少なくなったところを統合してという考えだと思のですが、これを先ほど言われていた人口増加政策に結び付けて考えているということもあるのですか。

久山教育長 英語特区を継続しますので、一層活性化することによって移住とかの話をしましたら、人口減少地域と人口がまだ増加している地域が市内にあります。その平準化も含めて定住促進を進めて地域のバランス、人口のバランス、それから全体が良くなっていくこ

とを狙っていくということもあります。

剣持委員 この義務教育学校に、例えば他県から移住してということになるとその減少地域の土地の問題とか空き家を一緒に含めて他県にアピールしないといけない、ここだけで義務教育学校しますよと言っても、折角良いことなのでしっかり発信していきたいと思えます。

久山教育長 ありがとうございます。総合政策部が担当しておりますのでそこをしっかり連携して両方でPRしていかないとはいけませんね。

剣持委員 外から増えても市の中心部に増えただけでは全然解決にはならないと思うので、是非、幼小中一貫でというのは多分魅力的なことだと思います。そこまでずっと手厚く子どもの成長を見守ってくれるところがあるのだなというのが。特に都会に住んでいる人は田舎で自然の多いところで子どもを育てたいと考え来る人も多いと思うので何か上手いことアピールできたら良いと思います。

久山教育長 ありがとうございます。是非そうしていきたいと思えます。

他にございませんか。

(質疑なし)

久山教育長 それでは、事務局の方から何か他にありますか。

林子ども夢づくり課長 療育の話を三宅委員から大分前にいただいていた。今、療育の給付額が凄く増えてはいるのですが、しっかり行政としてもどういうふうな療育を行っているのかを見ながら、保育所を使いながら療育、学校を使いながら療育とかあり、ここを上手いことつなげていこうとやっておりますので、また、色々と教えていただければと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

三宅委員 修学旅行がどうなったかご報告いただけたらと思えます。行けたのだろうと思うのですが、中々大変な思いをされたところもあるのかと思いき報告をお願いします。

西浪学校教育課指導主幹 総社東中と昭和中は修学旅行に行っております。発熱など心配をしながら行ったのですが、無事に帰ってきているところです。それから総社北小学校は県内に行っております。こちらも特に大きなトラブルはなく戻ってきており、楽しかったというふうに聞いております。

三宅委員 良かったですね。

久山教育長 後のところは9月14日でしたかね。

西浪学校教育課指導主幹 そうですね、今、確定している早い学校は9月14日です。

久山教育長 中学校も9月終わりから行くようになりますが、総社西中は淡路、総社中は北九州、それからその他の小学校は阪神地区で大阪・京都・奈良辺りで1泊2日、中学校は2泊3日で行く予定にしております。ただ、大分先のことなので感染状況がこれからまたどうなるか分かりませんが、キャンセル料が発生するギリギリの辺りが一番早いところで盆明けくらいになります。保護者に負担を掛けないということでキャンセル料が発生する前に判断をし、校長先生方と教育委員会でその時の感染状況を見ながら考えていきたいと思えます。

ます。どうしても小学校が大都市部の大阪・京都辺りなので、その辺りの感染状況も見ながらということになります。一応今のところは予定どおりのつもりでいます。

大山委員 毎日送ってくださるコロナの感染状況ありがとうございます。学級閉鎖が少なくなってきたとか無いというのは基準が変わったということもあるので分かるのですが、感染者自体がゼロの日があったり1名だったり段々減少してきている、この原因は何なのでしょう。

三宅委員 これは資料の方で説明させていただいて良いですか。

久山教育長 はい。それでは今のご質問で説明をお願いします。

三宅委員 これは最新の6月16日の岡山県の感染症情報から引っ張り出してきたのですが、ちょっと読ませていただきます。2022年6月16日までで、岡山県の感染者は累計で102,011名の全体の5~6%が罹ったくらいです。死亡者は250名となっています。最近では保育施設・高齢者施設などでクラスターが発生しています。直近1週間の新規感染者数は、ほぼ全ての年代で減少傾向になっています。ワクチン接種とともに基本的な感染予防策（3密の回避、マスクの正しい着用、手洗い、換気など）。たぶん暖かくなって換気がしやすくなったこととワクチン接種が進んだことが大きいと思っていますが、留意して体調が悪い時は休んで症状が続けば電話をして受診してください。24週までの速報で0~9歳が138名で一番多いです。10代が80人。重症化する60代70代80代の方は少ないというのが見ていただいたら分かるのですが、第6派というのがオミクロンで、第5派の辺りはデルタですけど、感染者は非常に多いのですが亡くなった方は少ない。そして高齢者の方が感染していない。これはワクチンが普及したからです。第6派の方が罹ってから、2月3月で高齢者の追加接種が始まりましたね。それから段々と減少してきています。高齢者も3回打っておけば、罹ることはあるのですがそんなに重症化はしない。もちろん体力の弱い方とかは重症化することがあります。ともかく今、12歳以上は3回接種、5歳~11歳までが2回接種ということでこれが中々進まないのですけれども最初にメリット・デメリットをよく考えて打ちましょうというところでいっぱい否定的なメッセージを出したので中々進んでおりません。立川市のお話を読ませていただきます。立川市の小学校でインフルエンザによる学年閉鎖が出ています。今年初めてです。これから全国に拡大するとは思いますが、移動制限が緩和するにつれて色々な感染症が増えてきています。小児科医の報告でもコロナの感染例は減少していますが溶連菌感染症、アデノウイルス感染症、感染性胃腸炎等、病気の種類が増えていきます。鑑別診断に頭を使います。先週から私も12~13名PCR検査をしています。陽性者はゼロです。この状態が続いてほしいと思っているのですが、都会の方では微妙に増えてきて新しいオミクロンの株が出ています。岡山県でも報告がありましたね、B4とかB5とかね。外国から帰ってきた方で検疫では引っかからなかったけど隔離後に発症したなど絶対入ってきます。新型コロナのワクチンの効果はありますので重症化は予防できます。子どももワクチンを打たれたと思うのですが結構熱が出てしんどい思いをされた方が多いようですね。だから子どもにはそんなしんどい思いをさ

せたくないということもありまして躊躇されているようですが、子どもの場合はワクチンの抗原量が3分の1なので熱が出る子はあまりおりません。筋肉注射なのでそんなに痛くはないです。大体7度5分くらいの熱がでる子が2割くらいでそんなに熱は出さないとよという話をして、今は一生懸命進めています。2枚目の方を見ていただいたら分かるのですが、アメリカでのデータになりますが、子どもはインフルエンザと比較してどうなの？ということでインフルエンザと新型コロナ、0～4歳、5～11歳、12～17歳で発症は10万人あたり。インフルエンザは子どもの病気ですね、70.9人、24.3人となっています。これを見てみると年齢内下降がひどいという感じですよ。11歳以下の子どもたちはインフルエンザと同様の重症度だけれどやはりオミクロン株になって感染者がぐっと増えましたので亡くなる方も出てきますし実際3か月で10歳以下の子が7人亡くなりました。主に脳症とかクループみたいに呼吸が困難になったとかだと思えます。下のものがオミクロン流行期における5～15歳へのメッセンジャーRNAワクチンの効果です。5～11歳は2回接種です。12～15歳は3回接種がありますが比べて見ていただいたら分かるようにそれなりの効果はあります。一番下にMIS-C（ミスシー）と書いてありますが、これは新型コロナに感染後まれに発症する川崎病に似た重症の合併症でかなり亡くなる方も多いためなのですが、それを予防する効果が2回接種の5～11歳で78%、12～15歳で92%。感染予防はできないかもしれませんが重症化予防はでき入院予防はできるということで、皆さんは3回ほとんど受けられていますよね。何か受けて変わったことがありますか。無いですよ。子どもだけ受けさせないというのはちょっとおかしいと思います。やっぱりそれなりに、今、コロナが無くなることはないので罹るかワクチンを打って免疫を付けて予防できるようにするかどうかです。とげとげの付いているウイルスそのものが入って全身に巡ってしんどい思いをするよりは、とげの一部をつくるRNAを入れて自分の体の中でとげをつくってそのとげに対して自分の体で抗体を作ります。RNA自体は長く体の中に留まらないのでほとんど影響ないと思いますけれど陰謀論みたいなものもありますが、ワクチンは打っていただいたら良いと今は受診した方に進めています。この夏休み、秋くらいまでは少ない状態が続くし、これからお年寄りの4回目接種が始まるので減らないかもしれませんが重症化するお年寄りたちはいないと思います。だから夏休みが終わって修学旅行に行くまでは大丈夫かもしれないけれど、その後インフルエンザと一緒に流行るかもしれません。でも、子どもたちにしっかりワクチンを打てればコロナではなくてインフルエンザのみで終わるのかと期待しております。以上です。

久山教育長 ありがとうございます。

剣持委員 少し前、市の広報に夏休み中の幼稚園などでアルバイトをしませんかというのがありましたよね。

林こども夢づくり課長 預かり保育指導のですね。

剣持委員 そうです、幼稚園の先生を目指している。あれは応募があったのですか。

林こども夢づくり課長 私の見ているところで2～3人とは面接をしてお願いをしている

という感じでした。是非、知り合いの方がおられたら、夏だけではなくて通年募集しております。直接担当の方から広報だけではなくて学校の方へお願いできませんかという活動もしております。

剣持委員 分かりました、ありがとうございます。

久山教育長 他にございませんか。

林こども夢づくり課長 三宅先生にお礼を兼ねてです。実は3月くらいから保育園・幼稚園のクラスターは出ていないのですが、この前山手保育園で6月5・6日だったのですが5人くらい出たときに、今の大山先生から減っている原因がありますかと言うと、一つは園医の先生と必ず連絡してくださいということを総社市はやっています。その時、三宅先生の方から5人くらい出ているからスタッフさんに是非抗原検査でもしたらどうかとアドバイスをいただきすぐに教育長に相談させてもらって、園医の先生が言われているのだったということですぐにさせていただいて全員陰性が分かったので凄く安心しました。一つは園医の先生との連携が大きいのと、後、教育委員さんに送っているのと同じ情報を園にも送っています。だから園の方もこの辺で流行っているということやこういうことに気を付けようということでお互いに情報共有できています。それに一人でも出たらすぐに連絡が来るのでそういうところは頑張っていきたいと思っております。

久山教育長 他にございませんか。

(質疑なし)

久山教育長 それでは、次回の教育委員会の日程についてですが、7月21日(木)午前10時から西庁舎3階301東会議室で開催いたしますので、ご参集願います。

次に、8月の教育委員会の日程を調整したいと思いますので、事務局から提案願います。

*** 8月の教育委員会について日程調整***

久山教育長 児島委員が欠席のため、8月の教育委員会は、後日連絡をしたいと思います。

これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

【閉会 午後3時05分】